

*Isodon Websteri* (Hemsl.) Kudo, Labiat. Sino-Jap. 130 (1929).

**Rabdosia Wightii** (Benth.) Hara, comb. nov. —S. India

*Plectranthus Wightii* Benth., Labiat. Gen. Sp. 41 (1832).

**Rabdosia wikstroemioides** (Hand.-Mzt.) Hara, comb. nov. —W. China

*Plectranthus wikstroemioides* Hand.-Mzt. in Act. Hort. Gotob. 13: 369 (1939).

**Rabdosia yuennanensis** (Hand.-Mzt.) Hara, comb. nov. —W. China

*Plectranthus yuennanensis* Hand.-Mzt., Symb. Sin. 7: 943 (1936).

\* \* \* \*

ヤマハッカ属に対して工藤博士 (1929) は *Plectranthus* とは別属として *Isodon* を起用したが, 中井博士 (1934) は別に *Amethystanthus* 属を新設した。私は日本種子植物集覧 1 (1949) をまとめる際にこれらの関係を検討し, *Isodon* が *Plectranthus* の基準形とは萼や花冠の形で区別できることを認めこれを採用し, *Amethystanthus* はここにふくめた。近年アフリカやオーストラリアのこの類の分類が再検討され, *Isodon* はやはり *Plectranthus* とは別属として扱う見解が多く出されている。しかし最近 Blake (1971) はジャワ産種に基いて設立された *Rabdosia* 属 (1842) が *Isodon* と同属であることを指摘した。私は Blake 博士と交通したところ, アジア産の種の扱いについては任せる旨の連絡があったので, ここにヒマラヤから日本にかけて産する種について新組合せを発表する。ただし中国からは非常に多くの種が記載されており, それらの相互関係は今後研究すべき課題である。

○トウワタの黄花品 (多和田真淳) Shinjun TAWADA: A yellow flowered form of *Asclepias curassavica*

沖縄に広く野生化しているトウワタ (*Asclepias curassavica* L.) は, 花が紅赤色であるが, 伊江島には黄花のものがみられる。白花のものの報告はあるが, 黄花のものはないようなので, キバナトウワタと名づけて報告しておく。数年来この種子をまいて栽培しているが, 葉や花の形がかなり異なった突然変異がでてくるようなので観察をつづけている。

*Asclepias curassavica* L. forma **flaviflora** Tawada f. nov.

Corolla flava, cetera in typo.

Hab. Ryukyu: Isl. Iejima, Nishiue (S. Tawada).

(沖縄県那覇市 [redacted])